

次世代育成行動支援計画 目標別成果指標の推移 及び事業の実績評価

<基本理念>

子どもの笑顔がかがやき、安心して子育てできるまち

<基本目標>

1. 地域における子育て支援の充実

2. 母性及び乳幼児等の健康づくりの推進

3. こどもが健やかに育つ教育環境の整備

4. 安心して子育てができる環境の整備

5. 仕事と家庭の両立の推進

6. 配慮を必要とするこども・子育て家庭への支援体制の整備

【次世代育成支援行動計画事業の実績評価(合計)】

令和7年度評価 (91 事業)				
A 評価:63事業 B 評価:25事業 C 評価:3事業 D評価:0事業				

評価の位置づけ

- A : 計画どおり進んでいる
- B : 概ね計画どおり進んでいる
- C : 計画どおり進んでいない
- D : 未実施

基本目標ごとの評価の内訳

	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	合計
1. 地域における子育て支援の充実	26	8	2	0	36
2. 母性及び乳幼児等の健康づくりの推進	5	5	0	0	10
3. こどもが健やかに育つ環境の整備	10	3	1	0	14
4. 安心して子育てができる環境の整備	10	3	0	0	13
5. 仕事と家庭の両立の推進	2	1	0	0	3
6. 配慮を必要とするこども・子育て家庭への支援体制の整備	10	5	0	0	15
合 計	63	25	3	0	91

■基本目標1 「地域における子育て支援の充実」(36事業)

子育ては、家庭だけの問題ではなく、地域全体で支え、見守ることが重要です。

保護者が、子育てについて責任を有していることを前提としつつ、様々な支援を受け、安心して子育てができるよう、地域における子育て支援サービスの充実を図ります。

また、子育てについて負担や不安、孤立感を感じている子育て家庭が、必要な情報提供や適切な相談支援等が受けられるよう、子育て支援のネットワークづくりを推進します。

【次世代育成支援行動計画事業の実績評価】

基本目標1 令和7年度評価 (36 事業)			
A評価:26 事業	B評価:8 事業	C評価:2 事業	D 評価:0 事業

■基本目標2 「母性及び乳幼児等の健康づくりの推進」(10事業)

安心して子どもを産み、育てられるまちづくりを進めるため、母子の健康の確保及び増進に向けた取組を進めることが重要です。

母親が妊娠期を健やかに過ごすとともに、安心して出産に臨み、子育てができるよう、子ども家庭センターを中心に、保険、医療、福祉、教育等の各分野と連携し、切れ目のない一体的かつ継続的な相談・支援体制を構築します。

また、未来の親となる子どもたちの将来に向けて生命(いのち)の大切さを理解できる機会を設けるとともに、母子の疾病予防や、健康な生活習慣の確立に向けた食育の推進等を図ります。

【次世代育成支援行動計画事業の実績評価】

基本目標2 令和7年度評価 (10 事業)			
A評価:5 事業	B評価:5 事業	C評価:0 事業	D評価:0 事業

■基本目標3 「こどもが健やかに育つ教育環境の整備」(14事業)

次代を担うこどもが明るい未来を思い描きながら考え、多様な人々との関わりあいを通じてともに学び、思いやりの心を育むことで自らの可能性を広く伸ばすことのできる力を育てる教育環境整備に取り組めます。

また、こどもを取り巻く環境がめまぐるしく変化する時代においては、一人ひとりが主体的に判断し、行動できる力を育成する環境づくりを推進し、教育力の向上を目指します。

【次世代育成支援行動計画事業の実績評価】

基本目標3 令和7年度評価 (14 事業)			
A評価:10 事業	B評価:3 事業	C評価:1 事業	D評価:0 事業

■基本目標4 「安心して子育てができる環境の整備」(13事業)

次代を担うこどもを含め、全ての市民が安心して暮らすことができるまちづくりが重要です。

地域において安心して子育てができるよう、安全な道路交通環境の整備を進めるとともに、こどもやその家族等が安心して遊ぶことができる場所づくりを進めます。

また、地域住民、関係機関等が連携して、こどもを交通事故や犯罪等の被害から守るとともに、被害にあったこどもの支援を推進します。

【次世代育成支援行動計画事業の実績評価】

基本目標4 令和7年度評価 (13 事業)			
A評価:10 事業	B評価:3 事業	C評価:0 事業	D評価:0 事業

■基本目標5 「仕事と家庭の両立の推進」(3事業)

核家族化が進行し、共働き世帯が増加する中で、保護者が仕事をしながら充実した子育てをするためには、育児休業制度等の多様な勤務体制、働き方改革を含めた職場の意識改革等が必要であるとともに、子育て家庭がライフスタイルにあった保育サービス等を選択し、利用できることが重要です。

このため、事業主や地域住民へ向けて広報・啓発に取り組むとともに、多様な働き方に対応した保育サービス基盤の充実を図ります。

【次世代育成支援行動計画事業の実績評価】

基本目標5 令和7年度評価 (3 事業)			
A評価:2 事業	B評価:1 事業	C評価:0 事業	D評価:0 事業

■基本目標6 「配慮を必要とするこども・子育て家庭への支援体制の整備」(15事業)

全てのこどもは、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立等が保障されること等の権利を有しています。

こどもの現在及び将来が、その生まれ育った環境によって左右されることのないよう、全てのこどもが心身ともに健やかに育成されるとともに、教育の機会が保障され、こども一人ひとりが夢や希望を持つことができるようにするための施策を推進します。

【次世代育成支援行動計画事業の実績評価】

基本目標7 令和7年度評価 (15 事業)			
A評価:10 事業	B評価:5 事業	C評価:0 事業	D評価:0 事業